

とだ議会だより



3月定例会

No.186

2015年(平成27年)5月1日

保育所4園を新設 平成27年度予算決まるP2

常任委員会の年間活動成果 P20

入園式(こどもの国さくら草保育園)

主な議案	4
知っ toco クイズ当選者	7
委員会の審査から	8
総括質問	10
そこがききたい(一般質問)	13
正副議長就任あいさつ	24

保育所の新設等で定員実質 221 人増

こどもの国さくら草保育園100人

ニチイキッズ上戸田 保育園80人

にいぞ虹保育園70人

ちびっこランドすみれ保育園26人

定員拡大
3園35人

※ 上戸田保育園が3月31日で閉園し、90人減

平成
27年度

予算決まる

一般会計 479 億円 4.2%減

歳入:市税 267 億円 1.1%減

平成27年度に行う事業を
地図にしてみました。



戸田市の財政案内人 おさいふくん



平成27年度
戸田市予算マップ

(財務部財政課作成)

平成27年
3月
定例会
2月23日～3月25日

主な議案

高齢者総合介護福祉
条例の一部改正

第1号被保険者の介
護保険料率等を変更す
るものです。



望月久晴議員

介護保険料の値上げ額
を低く抑える努力を

本条例は介護保険の
基準額を年額5万32
00円から6万720

3月定例会は2月23日から3月25日までの31日間の会期で開かれ、市長提出議案45件と、議員提出議案2件、委員会提出議案1件が提出され、いずれも可決・同意しました。また、9議案に対し延べ23人の議員が質疑し、議案2件に対し、4人の議員が討論を行いました。

日間にわたる一般質問では、12人の議員が活発な論戦を展開しました。
2月4日・5日に開催された2月臨時会では役職改選が行われ、議長には三浦芳二氏（公明党・3期）、副議長には馬場栄一郎氏（志政クラブ・3期）を選出。また、監査委員として秋元良夫氏（平成会・5期）を選任する議案に同意、委員会提出議案1件を可決しました。

繰入金の増額等を見込
んだものです。

《結果》

原案可決（20対3）

※委員会審査におい
て、財政調整基金積
立金を増額すること
に賛否両論がありま
した。

介護保険特別会計補
正予算

歳出では、介護給付
費の増額、歳入では、国
県支出金、一般会計繰
入金等の増額です。

《結果》

原案可決（20対3）

※委員会審査におい
て、制度改正に伴う
介護保険システム改
修業務に賛否両論が
ありました。

一般会計予算

※2・3ページの予算
マップ、及び本ペー
ジの一般会計予算の
内訳参照。

質 疑

Q学童保育室事業につ
いて、小学校6年生
までの拡大に当たっ
ての対応は。

A現在、公立学童保育
室の総定員数122
5人に対して、入室
申請受付総数が10
99人、そのうち拡
大した新5・6年生
に当たる児童数は合
計55人。美谷本小、
戸田東小、荳原小の
3校の学童保育室に
おいては、定員を上
回る申請があった。
待機児童が見込まれ
る小学校区付近に、
新たに民間学童保育
室3室を誘致し、1
10人分の受け入れ
を拡大する予定。

Q生活保護世帯への学
習支援事業の詳細
は。

A生活保護世帯の自立
に向けた学習・住宅・
就労支援などの事業
は、これまで埼玉県
が実施してきたが、
県が26年度での事業

げ額を低く抑える努力
をすべきだった。

《結果》

原案可決（20対3）

国民健康保険税条例
の一部改正

本市の課税限度額は
73万円。平成27年度に
法定限度額が引き上げ
られると85万円となり、
差が12万円となること
から、国民健康保険の
安定的な運営及び税負
担の公平性を確保する
ため、課税限度額を見
直し、77万円に改める
ものです。

今回の賦課限度額の
改正は、平成23年度税

の終了を決定したこ
とから、平成27年度
からは戸田市が継続
して実施するため予
算を計上した。

学習支援事業では、
支援の対象を生活保
護世帯に加えて、生
活困窮者世帯の子供
にも拡大をする。教
員経験がある支援員
を任用し、個別家庭
訪問を通じて、子ど
もの教育に関して相
談相手となり、必要
な助言を行う。状況
に応じて、学校や専
門機関への橋渡しな
ども行う。

Q喫煙制限区域指定に
至った経緯は。

A平成20年度に「戸田
市ポイ捨て等及び歩
行喫煙をなくす条例」
を施行し、市民等の
環境美化意識の高揚
に努めてきた。これ
まで市内3駅の駅頭
におけるキャンペーン
等により当該条例
の周知を図ってきた
が、いまだに歩行喫
煙等に関する苦情が

制改正当時の法定限度
額まで引き上げること
により、高額所得者に
応分の負担をお願いす
るものです。

《結果》

原案可決（20対3）

※委員会審査において、
課税限度額の引き上
げについて賛否両論
がありました。

一般会計補正予算

歳出では、国民健康
保険特別会計繰出金の
増額、財政調整基金等
の積立金を計上、歳入
では、市税及び学童等
災害共済事業特別会計

寄せられている。条
例に基づく喫煙制限
区域の指定を実施す
ること、路上での
喫煙行為そのものを
禁止することができ
るため、今回、新た
に市内3駅周辺を「喫
煙制限区域」に指定
し、通勤時間帯を中
心に啓発員が2人1
組で各駅を巡回する
ことにより、さらな
る喫煙マナーの向上
を目指す。平成27年
6月1日の指定を予
定している。



花井伸子議員

市政運営に市民協働
の本旨を貫け

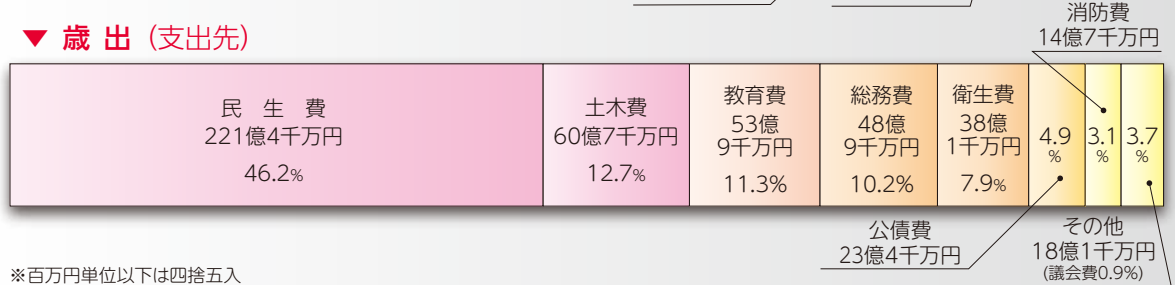
①昨年、平成25年度
の姉妹都市訪問費用返
還請求を求める住民監
査請求を提出した市民
は、厳しさを増す市民
生活の中で税金の無駄
遣いをやめて、少しく
も身近な市政に生かし
てほしいと考えてい

【一般会計予算 479億2千万円の内訳】

▼ 歳入（収入源）



▼ 歳出（支出先）



※百万円単位以下は四捨五入

▼ 平成27年度予算のあらまし (千円単位は切り捨て)

■ 一般会計予算 479億2000万円
■ 特別会計予算 265億 496万円 (12特別会計の合計額)

■ 水道・下水道事業の予算

項 目		水道事業会計	下水道事業会計
収益的 収 支	収入	26億1053万円	27億1124万円
	支出	25億3578万円	27億1124万円
資本的 収 支	収入	7410万円	11億7861万円
	支出	10億5676万円	18億8206万円

※一般会計予算の内訳は、5ページをご覧ください
※学童等災害共済事業特別会計は、平成27年度から廃止
※収益的収支…水道水の供給や下水の処理にかかる収入と支出
※資本的収支…配水管や浄水施設、下水道管やポンプ場の建設更新などにかかる収入と支出

る。市民の声を真摯に受けとめ、行く先も目的も定まらない中での議員派遣旅費は削減すべき②不妊治療費助成事業は、少子化や人口減少が叫ばれている中、減額すべきではない③敬老祝金の支給回数と支給額の大幅な削減は高齢者の楽しみを奪うものであり、改善を求める④在宅要介護高齢者介護支援金支給事業も、今後高齢者人口が増えていく中で、在宅での高齢者介護は、ますます重要になる。介護者の御苦労を慰労し、励ますためにも1万5千円は堅持すべき⑤上戸地域交流センターの使用料は、上戸田福祉センターの使用料の2倍から3倍への値上げとともに、社会教育登録団体に対する使用料の免除が廃止されるため反対⑥戸田市の交通の要である埼京線3駅の自転車駐車場は公共性の高い施設であり、利用者



▶4月に開設した「こどもの国」

ばかりに負担を求めるのではなく、JRにもその負担を求めることを考えてもよいのではないか。指定管理者との協議のもと、登録料金を受益者負担100%の考えで最大4倍まで引き上げることには賛成できない⑦学童保育室の保育料は、官民格差の問題や多子軽減策もない大幅値上げ



細田昌孝議員

負担の公平性が確保されたことを評価

①開封市及びリパプール市への海外派遣旅費は、平成28年に市制施行50周年を迎える本市にとって、これらの友好関係をさらに親密で強固なものとするためにも、議会に限らず、引き続き交流を深めていく必要がある②敬老祝金及び在宅要介護高齢者介護支援金の改定は、さきの12月議会において議

決をしたものであり、引き続き高齢者が地域で安心して暮らしていけるように、地域福祉の向上や地域包括ケアシステムの構築など、新しい課題にしっかりと取り組むことを望む③上戸田地域交流センターの使用料は、事業の性格から、市が公費で負担するべき割合を考慮して算出された。新施設では無料で使える交流スペースなどもある用意される予定であり、これまでの活動団体に加えて、新しい利用者にも活発に使用していただけるよう、負担の公平性、基準の透明性が確保されたことは評価できる④学童保育料は利用者の所得状況に配慮した料金設定であり、近隣市との比較においても、受益者負担に基づく適正なものである⑤不妊治療費助成事業は、限られた予算の中で多くの市民にサービスを提供できるようにするために、一回の助成額の減額はや



酒井郁郎議員

戸田市らしい協働の形を作り上げていくべき

地域包括支援センター運営費について、国県より1600万円以上の補助金の交付を毎年、新規に受けるようになることを歓迎する一方、これまで受けられるはずだった補助金を受けてこなかった

意見書（委員会・議員提出議案）を県・国に提出
◇緑川改修計画の促進等を求める意見書（2月臨時会）
地盤の低い喜沢地区や喜沢南地区における水害対策として緑川の改修計画の促進など4点について県に要望するものです。
◇ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書（3月定例会）
将来にわたってドクターヘリを安定して運用していくために、実態をよく踏まえた上で、補助金の算定方法及び基準額の改善を図ることなど、2点について政府に求めるものです。
◇「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書（3月定例会）
一日も早い「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」の構築に向けて、我が国が積極的貢献を果たすよう、5点について政府に求めるものです。

点については、明快な説明を求める。防災備蓄の品目多様化を図ったことを評価する一方、マンション等の集合住宅を初めとする、自主防災会未加入世帯への対策を求める。がん検診において胃内視鏡検査の導入に踏み切ったことを評価する一方、検査内容の選定に当たっては、市民にとっての価値や医療費削減効果を基準とすべきと考える。保育所定員的大幅増や、学童保育室の受け入れ学年の拡大を行い、子育て支援の拡充が図られることを評価し、今後の放課後対策における全児童対策や、学校施設の活用などへの発展を期待する。生活保護受給者に対する総合的な自立支援として、特に教育支援の分野においては、生活保護家庭のみならず、生活困窮家庭へも対象を拡大する点については評価する一方、学習教室については早期の実施を求め

る。笹目中においては地元での学習塾と提携し補習授業を開始したとの一部報道もあったが、民間を活用した全児童生徒対象の事業へと統合していくことも検討願いたい。

今後、一人一人の市民に対しても、戸田市の事業全般にわたっても協働の概念を浸透させ、戸田市らしい協働の形を力を合わせて作り上げていくべきものであることを要望し、賛成討論とする。

《結果》
原案可決（20対3）

《結果》
国民健康保険特別会計予算

《結果》
原案可決（20対3）
※委員会審査において、課税限度額の引き上げについて賛否両論がありました。

介護保険特別会計予算

《結果》
原案可決（20対3）
※委員会審査において、本予算の編成方針について賛否両論がありました。

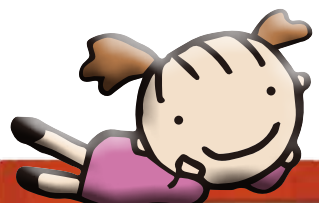
〔人事案件〕

教育委員会教育長
平成27年3月31日付で羽富正晃氏が辞職することに伴い、新たに任命するもので、任期は3年です。

戸ヶ崎 勤氏（新任）
《結果》
同意（全員一致）

請願の結果

不採択（1件）
▼市民が利用しやすい公共施設の料金設定を求める請願（上戸田地域交流センター）



知っtocoクイズ当選者

12月定例会号

「知っtocoクイズ(No.2)」の正解は、問1「調査」、問2「ラック」でした。

正解者16人の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- ・春山郁雄さん
- ・小野木成美さん
- ・大山宣治さん
- ・寺岡史香さん
- ・関口友香さん

議員辞職のお知らせ

1月31日付で岡崎郁子議員（日本共産党戸田市議団）が、2月13日付で斎藤直子議員（平成会）が辞職しました。

現在の議員数は24人。

議会内の会派構成は下記のとおりです。

志政クラブ7人
平成会5人
公明党5人
戸田の会4人
日本共産党戸田市議団3人

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、3月25日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

総務

※各常任委員会の所管部署

政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

新労務単価が下請業者に行き届くよう、監督を



▲9月1日開設予定の上戸田地域交流センター

【上戸田福祉センター工事請負変更契約】

委員より、社会保険料相当額を含む新労務単価が、下請業者にも行き届くよう、監督してもらいたいとの要望が出されました。

【27年度予算】

委託統計調査費では、執行部より、平成27年度に実施する国勢調査からインターネットに

よる回答が可能になり、具体的には、調査員が各世帯を訪問して、インターネット回答の利用案内を配布し、その回答を促した上で、そこで回答されなかった世帯のみに調査票を配布するようにするとの説明がありました。

防災費では、災害時の建物被害認定調査や罹災証明書の発行等を効率的に行う被災者生

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

待機児ゼロを目指して、保育園など受け入れ枠の拡大を

【26年度補正予算】

生活困窮者自立支援事業の相談件数について質疑があり、執行部から、10月から2月までの間、62件の相談があったとの答弁がありました。

ました。また、臨時福祉給付金事業については、対象者の約8割に支給した実績について質疑があり、執行部から、近隣市とほぼ同程度であるとの答弁がありました。

【27年度予算】



▲こどもの国さくら草保育園

シルバー人材センター支援事業に関連し、介護や学童保育に高齢者を活用してはとの質疑があり、執行部から、まず、家事援助を拡大していきたいとの答弁がありました。福祉センター費については、予約システムの周知を早くしてほしい、また、使用料減免の見直しや、新たな利用者が気軽に入る施

文教・建設

都市整備部
教育委員会

自転車レーンの左側通行表示に関する増加要望の対応は

【学童等災害共済条例を廃止する条例】

条例廃止に至った経過について質疑があり、執行部から、利用件数の減少が続く中で、全PTA会長と今後について検討し、廃止することとなった。また、各種団体にに対し、制度が廃止されても問題がないことや、基金を一般会計に繰り入れることについても説明し、理解を得ているとの答弁がありました。

【27年度予算】

土木費の道路維持費では、薄くなった道路路面標示やカーブミラーの点検等について質疑があり、執行部から、



▲自転車レーンの左側通行表示

し、不具合発見の際はすぐに対応しているとの答弁がありました。

また、自転車レーンの左側通行に係る表示について質疑があり、執行部から、昨年提出された当委員会からの要望に基づき、表示数をふやしているとの答弁がありました。

小学校費の学校管理費では、教師用の指導書について質疑があり、執行部から、学校現場から強い要望があったものであり、これを活用することで、授業の組み立てや、子供たちと接する時間をこれまで以上に確保でき、高い効果が見込まれるとの答弁がありました。

市民生活

市民生活部・環境経済部
消防本部
上下水道部

喫煙制限区域内の店舗へ協力を求めています

【26年度補正予算】

商工業振興費では、27年7月に販売されるプレミアム付き商品券発行事業について、駅や公共施設に置く応募はがきが付いたチラシは、すぐになくなる可能性があるので、その点是对応してもらいたいとの意見がありました。

【27年度予算】

環境衛生費では、喫煙制限区域の指定につ

は796人であるとの答弁がありました。また、待機児ゼロをどのように目指すか質疑が出され、執行部から、保育園と小規模保育施設の受け入れ枠をふやしていくとの答弁がありました。

いて、区域内の各店舗に対して説明を行い、協力を求めているかどうかとの意見がありました。

環境保全費では、浄化槽の法定検査費用を市が補助してはどうかとの意見があり、執行部から、市で補助する考えは持っていないとの答弁がありました。

観光費では、戸田橋花火大会の露店について質疑があり、執行部から、多くの露店が出



▶6月1日から市内3駅周辺が喫煙制限区域になります

店し、交通安全上、危険な状況であることから、今後は出店範囲を縮小する予定であるとの答弁がありました。

体育総務費では、28年度に開催される全国市町村交流レガッタ戸田大会に向けたスケジュールについて質疑があり、執行部から、27年度早々に準備委員会を組織し、役割分担等を決めていきたいとの答弁がありました。

レセプトデータの活用で 国保財政の安定化を

「分析結果をまとめ保健指導をする」



公明党 手塚 静枝 議員

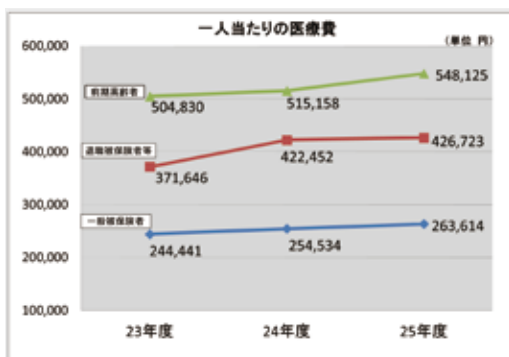
議員 年々増加する国保医療費の抑制対策は重要である。レセプトや特定健診結果データを活用した予防事業で、医療費の抑制と健康寿命の取り組みを。

市長 医療費抑制対策の一つとして、レセプトデータ等を活用した効果的な疾病予防対策、重症化させない取り組みが重要である。分析結果をまとめ、保健指導を実施していく。

総合的ながん対策を

議員 日本人の死因1位のがん。検診の受診率向上と「がん教育総合支援事業」推進を。

市長 胃内視鏡検査と前立腺がん検査を追加した。受診率向上に努める。がん教育は、これから推進していく。



学童保育室の指導員確保と資質の向上を

議員 受け入れ学年を6年生までに拡大されるが、指導員の確保と資質の向上策は。

市長 新たに民間学童保育室が3室開室され、待機児童の解消に取り組んでいる。有資格職員を確保し、研修等で資質の向上に努める。

市財政運営の健全化へ

議員 限られた財源を「賢く使う」かが極めて重要である。「統一的な基準による地方公会計制度」の整備促進は。

市長 統一的基準への移行は平成29年度を予定。移行後も財政運営の健全性・透明性の確保に努めていく。

地域防災力の要である 消防団の強化を

「機能別消防団を創設し
充実強化を図る」



志政クラブ 石井 民雄 議員

議員 消防団の団員確保については、大変苦慮しているものと推察している。今後の消防団の充実強化を図る新しい仕組みは。

市長 7つの分団とは別に、女性や大学生などを主体に編成する「機能別消防団」を新たに創設し、消防団の充実強化や地域防災力の向上を図る。



児童生徒を不審者から守る対策を

議員 最近は登下校時の児童が不審者から狙われるといった痛ましい事件が相次いでいる。児童生徒を不審者から守る安全対策の推進についての取り組みは。

市長 平成27年度に市内3駅に防犯カメラを設置するほか、学校・警察・地域が連携し、市を挙げて、登下校を

「ボートのまち 戸田」のPRを

議員 平成28年度に開催される「全国市町村交流レガッタ戸田大会」は、「ボートのまち 戸田」をPRする絶好の機会と思うが、市長の意気込みを伺う。

市長 平成27年度に市民・議会・関係機関・

行政で構成する「大会準備委員会」を発足し、運営及び大会のPR方法などを検討し、鋭意取り組んでいく。

また、この機会を生かし、一人でも多くの市民にボート競技の魅力を伝えていきたい。

さらなる犯罪発生件数 減少への対策は

「駅周辺等に防犯カメラを設置する」



平成会 秋元 良夫 議員

議員 地域の防犯パトリールの実施により、犯罪発生件数は半減したが、最近では下りま



件数減少への対策は。

市長 自転車盗の対策は大型店舗・マンション等での警備を強化

地域包括ケアシステムの構築を

議員 平均年齢が県内で最も若い本市においても、今後、急速に老年人口が増加してくる。高齢者が安心して老後の生活を送るため、地

地域の特徴を生かした総合戦略策定を

域包括ケアシステムの構築について伺う。

市長 2025年を見据えて、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備の3つの柱として、本市の実情に合わせた地域包括ケアシステムの体制を整えていく予定である。

議員 国の中・長期ビジョンに基づく自治体の地方版総合戦略の策定に当たり、地域の特徴ある施策を実施することが期待されるが、本市の現段階における進め方を伺う。

市長 本市の特徴を加味した総合戦略とするために、「産官学金労言」で構成する推進組織と議会と連携し、策定作業を進める。

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表質問のことです。

今定例会では、3月4日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをた

だしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

なお、施政方針の内容は、4月1日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。



▲サクラ満開(市庁舎前)

一般質問



議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、3月6日及び9日・10日の、3日間をかけて、12人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。一般質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



そこが ききたい

▶身近な地域に多世代交流の場を
(提供…大阪市立大学生活科学研究科)



自転車ナビ ライン整備

福祉部長 地域住民や利用者の意向を踏まえ、実施の可能性を探っていき

一方で、子育て世代からは、施設を使わせてもらえないという不満の声が多く上がっている。多世代利用に向けて、施設のあり方を見て、施設のあり方を見

議員 新曽福祉センター内に多世代交流スペースの常設を求める陳情が提出されている。設置を検討して

福祉センター

多世代利用に向けた 見直しを

「関係部局と連携して検討する」

真木大輔 議員

直してはどうか。

福祉部長 時代や社会のニーズに合わせて柔軟に対応することが必要。関係部局と連携して検討を行っていく。



議員 福祉センターの稼働率が30%を下回る

その他の質問

Q 交通の支障となる車道上の違法広告物の回収を。

A 確認次第、対応していく。

Q 歩道のある薄暗い道の道路照明灯を優先的にLED化し、道の全体を照らせるようにしては。

A 対応を検討する。

県下の財政力を 暮らしに活かして

「適切な受益者負担を求める」



日本共産党戸田市議団 望月 久晴 議員

上げなど、公共料金の値上げと市民サービスの削減している。市の繰出金は10年間横ばいで増えていない。財政力指数は県下1位。公共料金の値上げと市民サービスの削減をやめべきではないか。

市長 限られた財源の中で財政運営を行うためには、適正な受益者負担を求めていく必要がある。



◀ 8月に開館する上戸田福祉センター

議員 消費税増税によって、戸田市に入る地方消費税交付金が0.5%から0.85%に増え、7億円増額となる。この財源で介護保険料の基準額1万4千円値上げや国保税の限度額4万円引き上げはやめられるのでは。

市長 負担の公平や事業の安定的な運営に必要であり、ご協力をお願いする。

「協働のまちづくり」 推進の加速を

「自治基本条例の理念を進めていく」



戸田の会 酒井 郁郎 議員

市長 自治基本条例の理念に基づき、市民・議会・行政が連携して議論を深め、市民参加を進めてまいりたい。

議員 競艇の経営が悪化している。今後は。

市長 仮に競艇事業の赤字が恒常化した場合、継続は困難。まずは経営改善に取り組む。

議員 放課後子ども教室、青少年の居場所の充実に向けた対策は。

市長 スタッフの確保や実施時間等のニーズを把握し、充実を図る。

議員 特別支援教育の充実に向けた具体策は。

市長 本年度、次年度に通級教室と特別学級を増設。相談・支援にお



▶ 戸田競艇の経営状況を市民に報告すべきでは
(提供…戸田競艇組合)

議員 殺処分ゼロを目指した野良猫対策を。

市長 不妊・去勢手術を施すなどの地域猫活動や里親探しなどを支援し、殺処分ゼロを目指す。地域の理解を得て猫の一生を全うさせ、人と猫との共存を図る。

プール再開の見通しと今後の施設維持方針は「再開は容易でなく抜本から見直す」

遠藤 英樹 議員

スポーツセンター



議員「スポーツセンター屋内プール」

落下事故」に関して以下
の点を伺う。①事故
が起きた経緯と調査結
果②利用者への対応と
教室の運営や大会への
影響③昨年に実施した

民間と連携し抜本的に施設のあり方を見直すべき

スポーツセンター屋内プールの劣化調査は、今回落下した天井についても行っていたか。また、その内容と結果④今後の安全対策と再開時期⑤将来的な施設のあり方や方向性として、ファシリティマネジメントの観点からどのように考えるか。

市民生活部長 ①天井内に入り込んだ大量の水蒸気が天井ボードを湿らせ、ふやけたもの

が剥がれてプール内へ落下した②翌日の午後からプールを閉鎖し、市やスポーツセンターホームページにてプール閉鎖の周知を図るとともに、教室参加者全てに今後の教室や大会の開催を当面の間、中止する連絡をした③天井は別途工事予定だったことから、劣化調査はしていない。プールサイド床下のコンクリートに、ひび割れや剥がれ、鉄筋の腐食が進

行している状況で、早期に床面全面を改修する必要があるとの結果だった④安全が確保できず、当面の間、屋内プールの公開を中止する⑤大規模改修か建て替えか、公設か民営かなど手法を検討し、大きな方向性については、27年度中にまとめたい。



▶戸田市スポーツセンターの天井落下部分

地方創生

交付金に対する考え方は

「従来の枠にとられず取り組む」

山崎雅俊 議員



議員 戸田市版地方創生戦略の推進について

どのように考えているか。

総務部長 少子高齢化の進展に的確に対応して、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、市町村の実情に応じて、総

合戦略を策定するように求められている。国の平成26年度補正予算で創設された「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を、本市が将来迎える人口減少や超高齢化を見据えて、より発展するため交付金ととらえている。多様な分野の関係者との協議を重ね、従来の枠にとられない事業に取り組みたい。



▶戸田市起業支援センター（オレンジキューブ）

議員 平成26年度事業については、どのように考えているか。

総務部長 プレミアム付き商品券の発行事業や、女性や起業家への支援に関する「しごと」の創出に係る事業などがまとまったので、交付金を活用したい。

議員 平成27年度事業に対する交付金活用策について。

総務部長 総合戦略の策定は平成27年度から5カ年計画となっているので、市長を本部長とする「戸田市ひと・まち・しごと創生本部」を設置し、人口ビジョンや総合戦略の策定、多様な意見を反映させる体制の整備などの検討を始めた。市民、議会、有識者等、幅広い分野の関係者と連携して経済活性化対策を見いだしていきたい。

開会時間変更の検討はできないか

「市民の声を聞き調査研究する」

本田 哲 議員

成人式



議員 戸田市の成人式は、午前9時20分の受付開始、午前10時の開会と、他自治体より開会時間が早い。女性の着付けや髪結い等に時間がかかることから、「開会時間の変更ができないか」との要望が寄せられている。開会時間が午後等に変更されれば、新成人や保護者等の負担が軽減でき

ると考えるが、検討はできないか。



▲晴れ着華やかな成人式

子ども青少年部長 他自治体では午後からの開催や成人の日の前の日に行っている例もあるので、さまざまな事情に応じて、見直しも必要なことと考えている。市民の声を聞くとともに、関係団体とも十分協議し、開会時間等について調査研究する。

議員 聞き取り等は、どのようなタイミングで行えるのか。

子ども青少年部長 新成人の意見を聞く機会として「はたちの集い」の実行委員や、これまで関わってきた実行委員と、その知り合い等に聞くことも考えられる。また、これまで協力をいただいている関係団体の意見を聞いた

議員 新成人や保護者、関係する方々それぞれの負担が軽減されるような成人式となるよう、

重ねて要望する。

その他の質問

Q 高齢者の生きがい対策として公共施設等の利用料減免制度導入の検討は。
A 他市の取り組みも参考に、今後も環境整備は推進する。

教育行政

教育に対する

市長の考えは

「地域づくりの基本は人づくり」

馬場栄一郎 議員



議員 教育行政の組織及び運営に関する法律

が改正され新教育長が教育委員会の会務を総

理する。市長が新教育長を任命することになるが、どのような方がふさわしいとお考えか。

議員 市長の教育への関与が位置付けられたが、市長の教育に対する考えは。



▶授業風景（戸田東中学校）

市長 地域づくりの基本は「人づくり」。社会を支え発展させる人

議員 市内で昭和56年以前に着工した分譲マンションは約20棟で、耐震補強が必要と思われる。市独自の補助金制度の創設の考えは。

耐震補強 工事の補助を

都市整備部長 県では緊急輸送道路の最重要路線を閉塞させる恐れのある建築物を対象に、一定の範囲内で補助している。他の自治体の制度を参考に、その有効性・公平性について研究していきたい。



議員 緑川 昭和
44年に緑川の拡幅に反対す

る請願が戸田市議会では採択され、埼玉県はそれを理由に改修をせず今日に至っている。この請願を無効にするため平成25年に「緑川改修計画の促進に関する請願」を提出、採択され、条件整備は整った。①今後の緑川の整備に

対する県の考えは②矢板が腐食し護岸が崩れ危険な状況がある③整備は、拡幅するのか、かさ上げするのか。

環境経済部長 ①立野

際橋より上流が未整備で、今後の事業展開は、大雨による浸水状況を見ながら検討するとこの県の回答②昨年崩れたところは修繕工事をした。今後も護岸の維持修繕は行う③拡幅と併せて河床の掘削を行う。



修繕工事の終わった緑川

中学生の非行化と学校の対応は

議員 中学生の非行が増加し、消火器の噴射や喫煙、器物の破損する事件がある。①非行化に対する学校の対応と、不登校の生徒数は②警察のOBを雇い指導しては。

教育部長 ①学校でも、警察や町会、PTA等の関係者の協力を得て努力している。長期欠席は病欠欠席を除

請願採択で条件整備は整ったが今後の対応は

「県は大雨の状況を見て検討」

高橋 秀樹 議員

緑川改修計画

その他の質問

Q 中学校選択制の厳格化と、通学区域の見直しは。

A 通学区域や選択制も含め、児童生徒数の動向や施設の状態を見て研究する。

一般質問

高齢者虐待

男性介護者向けの支援が必要では

「介護教室への参加を促す」

三輪なお子 議員



議員 高齢者虐待について、戸田市の状況を伺う。

福祉部長 高齢者虐待にかかる相談人数について、平成24年度は42人、25年度は34人、26年度は56人。高齢者人口の増加とともに増加の傾向。身体的虐待が最も多く4割、次いで心理的虐待、経済的虐待、世話をしないネグレクトがいずれも2割。虐待者とされる側の関係については、息子が母親に対してというものが比較的多い。中には、生命の危険に関わる恐れのある場合もある。

議員 男性介護者の相談を待つのではなく、家庭訪問などの積極的な支援、また、男性介護者の集いや介護教室の開催に取り組んではいかがか。

福祉部長 先進市の取り組みも参考に研究を進める。

笹目川の川沿いに転落防止柵の設置を

議員 笹目川プロムナード、山宮橋から谷口橋の間の遊歩道と斜面の間には、丈の低い植栽がされているだけで、市民から、「転落の危険がある。見た目にも危険を感じる」との声がある。転落防止柵の設置について伺う。



笹目川プロムナード

リズム体操発表会

振り込め詐欺

対策強化とアンケートの実施を

「効果的な対策を検討し強化する」

竹内 正明 議員

市民生活部長 高齢者にピースガードメールへの加入啓発を積極的に行い、メールを利用していない高齢者への連絡体制も強化したい。また、注意を促す啓発品として電話機付近で使用するメモスタンド

つづきは
卑劣な犯罪は絶対に許さないぞ！



議員 振り込め詐欺「特殊詐欺」の被害が後を絶たない。去年1年間の被害総額は過去最悪の559億4千万円となった。市内での被害状況は。

▲振り込め詐欺にご用心！(市役所2階の金融機関ATM前)

の配布も検討している。議員 千葉県柏市では老人クラブ連合会の協力でアンケートを実施した。被害の多い高齢者が振り込め詐欺に対しての意識を高め、警察に届け出のない被害状況も把握し、分析すること、効果的な対策にもつながる。コストも低く、本市でも実施してはどうか。

市民生活部長 アンケートは有効と考える。内容や方法など警察の意見も伺いながら検討していく。

議員 高齢者をだます卑劣な犯罪を「絶対に許さない」との思いで、効果的な対策を実施していただきたい。

市民生活部長 昨年の被害件数は18件、被害額は7300万円と増加傾向である。被害者は全員女性で、平均年齢は73歳と、高齢者の被害が目立っている。議員 平成27年度の具体的な対策は。



議員 高齢者をだます卑劣な犯罪を「絶対に許さない」との思いで、効果的な対策を実施していただきたい。

そこのち

糖尿病性腎症重症化予防対策の取り組みは

「埼玉県の共同事業に参加」

石川 清明 議員



議員 本年2月15日の広報に、糖尿病を初めとする生活習慣病の治療が必要な人や中断している人に対して、医療機関への受診勧奨の告知があった。受診勧奨後のサポートなどの取り組みについて伺う。

福祉部長 特定健診結果やレセプトデータから未受診者や治療中断者を抽出し、対象者リストを作成。対象者に受診勧奨通知文を送付し、必要度の高い人には電話での勧奨も予定している。医療機関等の問い合わせには、埼玉県の治療機関リストの提示や、インターネットで閲覧できる埼玉県医療機能情報システム等を紹介する。



福祉部長 埼玉県の共同事業に参加し、糖尿病性腎症重症化予防対策事業を埼玉県の方針に沿って行っている。今後は、医療機関に対象者リストを提示し、かかりつけ医に保健指導が有効と思われる患者を選定してもらい、

福祉部長 健康長寿埼玉モデルの推奨プログラムの導入に向けて、準備を進めたいと考えている。議員 今後の健康寿命延伸の取り組みについて伺う。

つばき
使用料見直しは今後の市の大きなテーマです



議員 今
後、公共施設の使
用料が全
体的に見
直されるとい
う。現在は
市職員のみで非公開で議
論されているが、①全公
共施設の調査を②市民や
有識者へ交え、開かれた
議論の場を③「受益者負

担の見直し方針」（平成18年度を公表し、継続的な見直しを④市の方針、受益者負担率、減免規定等は、改めて丁寧な議論を。

市長 自治基本条例の理念に基づき、検討の段階から情報共有し、理解を深め、市民・議会・行政が協働して検討を進めていきたい。

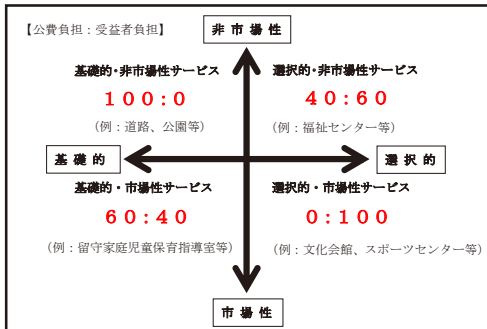
その他の質問

Q 職員の自転車保険の加入義務化を。
A 義務化は難しいが、自発的加入を促す。

見直す際は市民を交えた丁寧な議論と公開を 「市民・議会・行政が協働して検討」 金野 桃子 議員

公共施設使用料

議員 今後は市民参加の有無にばらつきがある
⑤今後は市民参加を原則に⑥職員の意識向上を⑦公共施設のあり方の議論と共に将来を見据えた全市的な検討を。
総務部長 ⑤強化する
⑥職員の考える力を育てる⑦公共施設全体について情報共有を図り、協働を進める。
議員 市長の考えは。



▶「受益者負担の見直し方針」（平成18年度）使用料を定めるには、合理的な説明が必要。

一般質問

協働参画

自治基本条例に基づく推進を

「今までの経験をさらに発展させる」

花井 伸子 議員

行政がそれぞれの役割を認識し問題解決に取り組む、必要に応じ話し合える機会をつくる
③自治基本条例制定も、基本的には白紙の段階から市民との協働で作りに上げた。これをさらに発展させる。

その他の質問

Q いたずらが続く公園への防犯カメラ設置を検討しては。
A 関係部署と十分調整し検討する。



▶第4次総合振興計画後期基本計画協働会議

議員 自治基本条例が制定され、本格的な市民主体の協働・参画の推進が期待される。今後の市の考えを問う。
①より多くの市民参加を得るための工夫②行政課題や住民苦情等、課題解決の場の設定③計画策定・変更等、白紙からの市民参加を。
総務部長 ①参加しやすいイベント、興味を持ちやすいテーマ設定や市民同士の呼びかけなど工夫する②市民

議員 公共料金の値上げやサービス見直し等においても、市民の意見を聞き、協働で考えるべき。
総務部長 幅広く多様な意見を聞き、協働による検討を進める。
議員 協働推進のためボランティア・市民活動支援センターを充実・強化すべき。
市民生活部長 先進市

議員 下水道の汚水整備計画は。
上下水道部長 基盤整備の進捗に併せた整備となるが、市内全域で平成37年度に汚水整備率を100%にする計画目標になっている。
議員 整備済み地区のうち、下水道に接続していない世帯数は。



▶汚水整備工事……下水道が市内全域に整備される予定ですが、それまで正しい維持管理が浄化槽には必要です。

議員 保守点検をやっているから法定検査は不要という声もあったと聞か。環境経済部長 法定検査は保守点検及び清掃が適正に行われているかを総合的にチェックするもので、別物。
議員 では、保守点検の実施率は。環境経済部長 平成25年度の実施率は53%と

下水道と浄化槽対策の充実を求める 「取り組みを強化していく」 中山 祐介 議員

生活排水処理

環境経済部長 平成26年度12月末現在で受検率が20%を超えた。また、1500通送付し、200件の問い合わせ

議員 浄化槽は適正な保守点検があつて初めて機能するものである。この実施率は低過ぎる。適正な維持管理を周知拡大する必要があると思うがどうか。
環境経済部長 広報への記載も検討する。

戸田市議会災害対策支援本部設置訓練を実施



▲戸田市議会災害対策支援本部設置訓練の様子

戸田市議会における災害発生時の対応要領及び議員行動マニュアルに沿って、戸田市議会災害対策支援本部設置訓練を実施しました。訓練では本部長（議長）と副本部長（副議長）が、議員の安否確認を行い、同時に訓練した市の災害対策本部の設置を確認した後、戸田市議会災害対策支援本部の設置を宣言し、市の災害対策本部に報告を行いました。

【検証結果】

今後は、より具体的な訓練を実施すべく、訓練のあり方について検討を進めます。

◀1月16日 浦安市立中央図書館にて（本市の図書館職員も同行）

委員会視察レポート 文教・建設委員会 千葉県浦安市

利用者からの要望に応え カフェをオープン

浦安市立中央図書館では、職員全員が司書の資格を持ち、専門知識を生かして、利用者の調べ物の手伝いなどを行っています。また、利用者からの要望に応え、休憩・飲食・閲覧ができる「ひだまりカフェ」をオープンしました。

【検証の結果】

図書館職員全員が司書の資格を持っている点から、図書館に対する市の取り組み姿勢が感じられました。



26年度

常任委員会の年間活動成果

委員会は、議案や請願の審査のほか、所管の範囲で調査事件を定め、市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対して政策提言を積極的に行っています。

提言書は、議会事務局に置いてあるほか、議会ホームページからもご覧になれます。

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

総務委員会

公共施設の適正な管理・運営
についての提言書



平成27年1月
戸田市議会 総務常任委員会

公共施設の適正な 管理・運営について

全国の自治体において、公共施設等の老朽化や、少子高齢化等が進み、公共施設の更新や維持管理等に係る財源確保などが問題となっており、解決に向けて、「公共施設ファシリティマネジメント」に取り組み自治体が増えています。戸田市においても、このような問題の解決に向けて、ファシリティマネジメント

【提言1 専門的な組織・権限について】

① 技術職で構成する専門的な組織を編制すること② 管理権限の一本化及び技術職の一課集結などの体制整備・充実を図ること③ 維持管理に係る契約を一本化し、ファシリティマネジメント担当課で締結すること。

【提言2 施設の現状認識、財産の有効活用について】

① 建物点検（健全度調査）の結果を公表すること② 保有財産量や施設の機能ごとに必要財産量を見極め、利用度の低い施設の転用や共同利用による財産の有効活用を図ること③ 施設の貸し出し等に協力していただける地域や民間の施設を募ること④ 将来の整備費用を確保する手段として、公共施設整備基金を活用し、修繕費用に充てられるような運用を図ること。

【提言3 地域の実情などを把握した上での計画の作成について】

① 施設の複合化や統合の計画の作成に当たり、地域の実情を踏まえ、戸田市に合った計画や進め方を研究すること。

【提言4 公共施設のファシリティマネジメントに係る意識改革や啓発、理解促進について】

① 職員研修や市民講座を実施すること② 地域住民への説明や協働による方針・計画の策定を早い段階から実施すべく、手法を確立すること③ 地域住民が中心となって議論を進めるとともに、意見を聴取する体制を整備すること。

【提言5 公共施設の維持管理について】

① 施設を所管する課の担当者が点検や軽微な補修を行うことで、ランニングコストの抑制を図るべく、職員の实地研修を検討すること。

【提言6 関連機関と

【協力について】

① 近隣自治体など、広域における連携を強化し、施設の共同利用や事例研究等を行うこと② 市民との協働や関連機関との連携により、公共施設の運用等について、新たな担い手づくりを検討すること。

1月28日 財務部へ提言書を提出



※ 公共施設ファシリティマネジメント…公共施設を自治体にとって効率的、効果的に運営すること。

文教・建設委員会

また来たいと思わせる 図書館に向けて

25年度に「安全で快適な都市整備について」と「児童生徒を取り巻く教育環境について」の2点を大きな枠組みとしてのテーマとし、調査研究を進めてきました。

1月28日 教育委員会へ提言書を提出

【安全で快適な都市整備について】

市内の自転車レーン及びゾーン30の整備箇所を視察し、協議した結果、「自転車レーン及びゾーン30等についての改善要望」を作成し、執行部へ提出しました。

この改善要望では、自転車レーンについて、道路標示により明示するサインの間隔を短くすることや、交差点や丁字路等に進行方向を示すサインを明示すること、また、ゾーン30について、道路標示の「ゾーン」を横書きとし、「30」を道路標識の最高速度のマークとすることなどを求めています。

【児童生徒を取り巻く教育環境について】

25年5月に実施した

長野県小布施町立図書館「まちとしょテラソ」への視察を通じて、コミュニティの場として図書館は必要であるとの考えにまとも、図書館に重点を置いて調査研究を進めることとしました。25年12月には、クリスマスイベントを企画し、講師を招いての講演会を図書館で開催しました。

26年度では、先進的な図書館5館へ視察を実施しました。12月には、25年度に続き、図書館でのクリスマスイベントを図書館との共催により開催しました。これらの視察やイベントを踏まえ協議した結果、「また来たいと思わせる図書館に向けての提言書」を作成し、執行部へ提出しました。

この提言書は、委員任期中に実現してほしい「短期」提言、2016年の市制施行50周年までをめどに実現してほしい「中期」提言、2020年の東京オリ

ンピック・パリンピックまでをめどに実現してほしい「長期」提言の3つの構成で成り立っています。主な内容は次のとおりです。

【短期】

最新のニュース等に関連する資料や書籍を取り上げて展示すること、館内にBGMを流し、館内放送を緊急時や特別なときだけ放送すること、図書館司書という専門性と図書館司書個人の趣味等を生かした講座やイベント等の開催を行うこと、イベントを市民と一緒に企画し、毎年1回以上開催することなどを求めています。

【中期】

市民の意見を広く取り入れながら、図書購入費の充実等を含む図書館ビジョン計画を策定することや、カフェの設置やコンサート等

また来たいと思わせる図書館 に向けての提言書

平成27年1月

戸田市議会 文教・建設常任委員会

での提供など、1階玄関ホールをコミュニティの場として最大限に活用することなどを求めています。

【長期】

施設のリニューアルとして、館内をぬくもりの感じられる空間とすること、本館1階の事務室を「こども図書室」に改修すること、「戸田資料室」を設置し、郷土博物館やアイカイブズ・センターとの機能連携を図ることなどを求めています。

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

健康福祉委員会

※高齢者を元気に スマートウェルネスシティの 取り組み

【提言理由】

人は誰しも、自分と自分が大切に思う全ての人に対して、健康に長生きすることを願うと思います。健康福祉常任委員会の委員一同は、戸田市民の皆様には、健康で長生きしていただくことを願い、今回の年間活動テーマを選定しました。

【スマートウェルネスシティ首長研究会またはWHO健康都市連合への加盟の検討】

健康に関する先進自治体と協調することによりその取り組みを強化できるのではないかと考え、スマートウェルネスシティ首長研究会加盟自治体5市、WHO健康都市連合加盟

自治体1市を視察しました。そして、いずれかの団体、もしくは両方の団体に加盟するべきとの結論に至りました。

の協働により、コースを生かしたウォーキング事業も実施されたところですが、今後、さらに取り組みを進めるために、市内大型ショッピングモールによるウォーキング教室など、民間の取り組みと連携することを提言します。

【健康都市宣言の採択】

茨城県潮来市では、市民にわかりやすい「健康都市宣言『健康都市いたこ』」を採択しています。本市においても、健康都市宣言の採択を検討するべきです。

運動器の障害のため移動機能の低下を来した状態を「ロコモティブシンドローム（略称…ロコモ、和名…運動器症候群）」といいます。予防として、筋力の維持、特に下肢の筋肉の減少を防止するため、軽い運動ではなく、少し負荷をかけた運動で筋力の維持を図る必要があります。第2次戸田市健康増進計

【市民へのウォーキングの実施の励行】

本市では、既に、市内横断的なプロジェクトにより「ウォーキング・ランニングのまちづくり」の施策が検討され、コースの設定、整備が行われました。26年度は、市民団体と

運動器の障害のため移動機能の低下を来した状態を「ロコモティブシンドローム（略称…ロコモ、和名…運動器症候群）」といいます。予防として、筋力の維持、特に下肢の筋肉の減少を防止するため、軽い運動ではなく、少し負荷をかけた運動で筋力の維持を図る必要があります。第2次戸田市健康増進計



▶1月28日 福祉部へ提言書を提出

画では、市民への普及啓発目標が掲げられ、健康教育事業などを通して、周知されつつあるところですが、今後は、若いうちの競技スポーツの活性化や老年期の筋力増強のための体操教室の実施など、ロコモティブシンドロームの予防対策事業を進めることを提言します。

区	分	委員長	副委員長	氏 名											
				中	山	金	野	三	輪	峯	岸	細	田	真	木
特別委員会	交 通	石 井	手 塚	高	橋	花	井	望	月	秋	元	栗	原	熊	木
	議 会	遠 藤	竹 内	馬	場	本	田	石	川	酒	井	山	崎	伊	東
	議 会	秋 元	石 川	金	野	細	田	本	田	真	木	竹	内	伊	東
一部事務組合	競 艇	中	山	馬	場	本	田	真	木	竹	内	伊	東	高	橋
	組 合	三	浦	栗	原									望	月
	議 会	三	輪	石	川	遠	藤	伊	東	花	井	酒	井	秋	元
衛生センター組合	議 会	三	輪	石	川	遠	藤	伊	東	花	井	酒	井	秋	元
	議 会	三	輪	石	川	遠	藤	伊	東	花	井	酒	井	秋	元
	議 会	三	輪	石	川	遠	藤	伊	東	花	井	酒	井	秋	元

※スマートウェルネスシティ…超高齢・人口減少社会によって生じるさまざまな社会課題を克服するため、「健幸」をまちづくりの基本に据えた新しい都市モデル。

市民生活委員会

地域コミュニティの活性化に向けた市民活動支援のあり方

市民生活常任委員会では、平成26年度の年間活動テーマを「地域コミュニティの活性化と市民活動支援について」と定め、市として、市民活動をどのように

支援すべきか、調査研究を進めてきました。先進地への視察のほか、本市の市民活動の拠点であるTOMATO（戸田市ボランティア・市民活動支援センター）の視察や、TOMATOの登録団体等との意見交換会を行い、その成果として、「地域コミュニティの活性化と市民活動支援に関する提言」をまとめ、執行部に提出しました。

この提言は、主に、登録団体等との意見交換会を通して把握した市民活動支援の課題やニーズに対する解決策をまとめたものであり、提言項目は5項目にわたります。

提言項目の要旨は次のとおりです。

地域コミュニティの活性化と市民活動支援に関する提言

- (1) 市民活動コーディネーターを養成すること
- (2) 市民が選択できる補助金制度(1%支援制度)を導入すること
- (3) 協働事業提案制度を導入すること
- (4) 駅前等に市民活動に関する情報発信の場を設けること
- (5) TOMATOの機能強化を図ること



平成27年1月 戸田市議会 市民生活常任委員会

① 手狭なTOMATOについて、建て替えや増築、他の公共施設への移転等、スペース不足の解消策を講じること② スタッフ自身は市民活動のエキスパートであるよう、その育成・能力開発に努めること③ スタッフ全員が高水準の相談を受けられるようにするとともに、弁護士等の専門家に必要な基準を設けるなど、相談体制を充実させること④ TOMATOが、市民活動団体と行政との間で意見調整を行うつなぎ役となること⑤ 登録団体の活動状況を正確に把握して、実際に活動している団体の支援に特化するよう、TOMATOへの登録を年度ごとの更新制とすること⑥ 登録団体の実際の活動の雰囲気や伝わりやすいよう、登録団体の活動情報を動画で発信すること。



提言項目の要旨は次のとおりです。

提言項目の要旨は次のとおりです。

提言項目の要旨は次のとおりです。

提言項目の要旨は次のとおりです。

2月臨時会

▶メンバーが代わりました。常任委員会委員は、2年の任期になって初めての交代です。

委員会名	委員長	副委員長	委員氏名					
総務	遠藤英樹	細田昌孝	金野桃子	高橋秀樹	花井伸子	三浦芳一		
文教・建設	榎本守明	峯岸義雄	中山祐介	竹内正明	伊東秀浩	熊木照明		
健康福祉	山崎雅俊	三輪なお子	望月久晴	酒井郁郎	手塚静枝	石井民雄		
市民生活	本田哲	真木大輔	馬場栄一郎	石川清明	秋元良夫	栗原隆司		
議会運営委員会	手塚静枝	遠藤英樹	本田哲	竹内正明	伊東秀浩	酒井郁郎	熊木照明	石井民雄

議会日誌

1月

- 13日 総務委員会／市民生活委員会
- 14日 県南都市問題協議会環境問題研究部会視察
- 15日 議会広報委員会／
県南都市問題協議会危機管理問題研究部会講演会／
県南都市問題協議会都市計画・交通問題研究部会視察
- 16日 文教・建設委員会視察
- 19日 健康福祉委員会／総務委員会／文教・建設委員会／
熊本県長洲町議会視察来庁
- 20日 文教・建設委員会／三重県松阪市議会視察来庁
- 21日 栃木県日光市議会視察来庁／一区議長会議員研修会
- 22日 議会広報委員会
- 23日 県市議会議長会役員会
- 27日 議会改革特別委員会
- 28日 議会運営委員会／常任委員会（総務／文教・建設／
健康福祉／市民生活）

2月

- 4日～5日 2月臨時会 本会議（正副議長選挙等）
- 6日 県市議会議長会議員行政研修会
- 9日 戸田競艇組合議会議会運営委員会／
千葉県柏市議会視察来庁／
戸田市議会災害対策支援本部設置訓練
- 10日 蔵戸田衛生センター組合議会議会運営委員会
- 12日 青森県五所川原市議会視察来庁
- 13日 戸田競艇組合議会
- 16日 議会運営委員会／健康福祉委員会
- 17日 埼玉県議会視察来庁
- 18日 蔵戸田衛生センター組合議会／
議会モニター委嘱状交付式
- 23日 本会議（開会、施政方針、総括説明、詳細説明）／
議会運営委員会
- 24日 本会議（詳細説明）
- 25日 蔵戸田衛生センター組合議会

3月

- 4日 本会議（総括質問）／議会広報委員会
- 5日 本会議（議案質疑）／委員長会議／議会運営委員会／
議員互助会役員会
- 6日 本会議（一般質問①）
- 9日 本会議（一般質問②）／
文教・建設委員会／市民生活委員会
- 10日 本会議（一般質問③）／議会運営委員会
- 11日 健康福祉委員会
- 12日、13日、16日、17日 常任委員会（総務／
文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 18日 特別委員会（交通対策／議会改革）／議会運営委員会
- 19日 健康福祉委員会市内視察
- 20日 戸田競艇組合議会
- 25日 本会議（委員長報告、討論、採決）

▼気軽に市役所へ傍聴において下さい。

※日程は変更になる場合があります。

29日（月）	22日（月）	19日（金）	18日（木）	16日（火）	15日（月）	12日（金）	11日（木）	6月4日（木）
（本会議）	（特別委員会）	（常任委員会）	（本会議）	（一般質問）	（本会議）	（本会議）	（本会議）	（本会議）
（討論・採決）								（議案説明）

6月定例会の予定

就任あいさつ

議会における危機管理体制の構築・拡充を



議長 三浦 芳一



副議長 馬場 栄一郎

このたび、議員各位のご推挙により、私たちは議長並びに副議長に就任いたしました。大変光栄でありますとともに、責任の重大さに改めて身の引き締まる思いであります。

市民の皆様の安心・安全を第一に考え、昨年12月に施行いたしました「戸田市議会における災害発生時の対応要領」等に基づいた実践訓練の実施など、危機管理体制の構築や拡充に努めてまいります。

また、議会改革を一層前進させ、改革の息吹を絶え間なく吹き込むとともに、「開かれた議会」を目指して、公平で公正な活力ある議会運営を行ってまいります。さらに、市民福祉の向上に向けて、市民・行政・議会が一緒になって汗をかく、「協働」による新たなまちづくりを推進していきたいと考えております。

引き続き市民の皆様の信託に全力で応えるため、最善の努力を尽くす決意でございますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

題字を書ってくれた人



「と」は、形のバランスに気をつけて書きました。
「だ」は、濁点の力強さを意識して書きました。

美谷本小学校 6年 藤岡 日菜 さん



▲この議会だよりは私たちがつくっています



2

015年が幕を
開け、早いもの
で5月である。今年
は終戦から70年とい
う節目。改めて歴史
を学び、あのときの
教訓をどう未来へ継承すべきか
。そして、間もなく東日本大
震災で被災した仙石線が全線で
運転再開だ。

（細）

早 朝の彩湖周辺を散策して
います。戸田ヶ原の桜草
が、とてもきれいに咲き始め、
満開のソメイヨシノとのコント
ラストが、とても美しい季節で
す。でも、ちょっと残念なのが、
桜草の株を持ち去った跡がある
のが心痛みます。

（民）

今 年は1月・2月はとても
寒い日が続きましたが、
3月になって急に暖かくなり、
桜が開花した途端に初夏のよう
な陽気になり、やっぱり地球温
暖化が進んでいると実感しまし
た。

（望）

サ ッカーファンです。もち
ろん浦和レッズ、近年は
大宮アルディージャも応援して
います。レッズのJ2優勝、ア
ルディージャのJ2優勝と昇格
が今年の願いです。さいたまグ
ラビスタが見たい、応援に行きた
い、どっちのユニホームを着て
なんて悩んでみたい！

（良）

U SBは、とても小さく、
膨大なデータを保存する
ことができるので、重宝に使用
していましたが、先日、そのUS
Bを紛失してしまいました。小
さいがゆえに、見つかりません
でした。便利なものに頼り過ぎる
といけないなと痛感しました。

（本）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。